

令和4年(2022年)3月11日(金)までにご提出ください。

枚方市教育委員会総合教育部
おいしい給食課 宛て

枚方市中学校給食あり方懇話会
委員氏名：

第4回枚方市中学校給食あり方懇話会 意見提出票

案件

1. 第3回会議のふり返しについて

別添1「第3回枚方市中学校給食あり方懇話会における意見」をご確認の上、加除整理、文言修正などございましたらご記入ください。

2. 課題の抽出等について

これまでの懇話会で案件提出のなかった事項や新たに課題として検討する必要のある事項などがございましたらご意見願います。

3. 市民からの意見募集について

懇話会でいただいたご意見を取りまとめ、本市では今後の中学校給食の方針案を作成し、その方針案に対する市民からの意見募集（パブリックコメント）を実施する予定です。その中で、保護者・生徒・児童への意見募集の要否（「実施すべき」「保護者だけでよい」など）、実施するとした場合の実施方法及び内容（「アンケート調査」など）、時期（「パブリックコメントと同時」「方針案を作成する前」など）について、ご意見願います。

4. その他

第5回懇話会の日程調整です。別添2「第5回枚方市中学校給食あり方懇話会日程調査票」をご確認の上、ご記入いただき、3月4日（金）までにご回答ください。

第3回枚方市中学校給食あり方懇話会における意見

第3回枚方市中学校給食あり方懇話会は、令和4年1月27日よりまん延防止等重点措置が大阪府に適用となったことから会議の開催を中止し、予定していた案件について、各委員へ個別に意見聴取を行いました。

1. 案件

- (1) 第2回会議のふり返りについて
- (2) 調理施設等について
- (3) 給食時間について
- (4) 給食献立について
- (5) その他

2. 資料

- (1) 第2回中学校給食あり方懇話会会議録
- (2) 学校給食調理場の種類
- (3) 中学校の配膳室の状況
- (4) 学校給食時間 一例
- (5) 枚方市の中学校給食献立テーマ等一覧

3. 意見聴取等

- ・ 案件(2) 調理施設等について [使用資料:2-(2)及び2-(3)]

委員名	意見内容
今城委員	・調理方式や配膳室の状況を見ると、実際に全員給食を実施しようとする と色々な課題があることが分かります。解決案等をいくつか提示し、意見を もらうという場にする方が話しやすいのではないかと思います。
田邊委員	・調理場の方式については、私たちにはどれがよいのかわからないので、 このようなものを建設する予定であるという提案をしてもらえると、意見とし て出しやすいです。 ・現在は、コロナ関係の予算がかかるとは思いますが、今は予算がないか ら仕方がないではなく、子どもたちの健康や教育のことを考えた時に、どう していくべきなのかを考え進めてことが大切だと思います。そうしないと、い つまでも進まないのではないのでしょうか。 ・枚方市独特のものはあまり見られないように思います。他市の状況を見 て取り組んでいくことが多く、全体的にスタートが遅いように思います。 ・これからの社会を支えていくのは子どもたちです。これからの社会を担う 子どもたちのことを考えた市政を行ってほしいと思います。

委員名	意見内容
中山委員	<ul style="list-style-type: none"> 配膳室を見たことがありますが、全員給食となると、今の規模では難しそうだと感じました。野菜など、食材費の高騰があったときなどに、家庭で作るより、給食で栄養のあるものを食べられるなら・・・という理由で申し込みが急増することもあり得るのかと思いますが、給食の利用率が急激に増えた場合、現在の状況で対応はできるのでしょうか。
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> 調理方式は、自校式の方が、栄養士などに給食について様々なことを聞きやすいように思います。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> 調理場の建設等が難しいのであれば、現在の第一共調で半数(6,000食)、民間で半数(6,000食)を交互にしてはどうでしょう。半数の学校はAパターンの第一共調、残りの学校はBパターンの民間で、AとBが担当する学校を月ごとに交代で運用するのよいかもかもしれません。但し、市と民間で、ランチボックスも違えば、ランチボックスを運ぶ容器等も違うとなれば、生徒や教師も運用に戸惑いが出るかもしれませんが。 調理場を市で建設するのか民間とするのかでは、やはり、市で建てた方が、市の思いを給食に反映しやすくなるとは思いますが、そうになると、かなり時間はかかると思います。
武田委員	<ul style="list-style-type: none"> 配膳室については、今後の生徒数の推移も考慮して、整備の要・不要を考えていく必要があります。
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> 調理方式は、経費がかかるのは十分理解しているが、理想としては自校式だと思います。 時間がかかっても、全員給食になれば良いと思います。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> 人数やクラス数などの学校規模によっては、給食を教室に運ぶまでに時間を要するので、食缶・ランチボックスに関わらず、配膳室の場所や大きさも検討する必要があるのではないのでしょうか。 他市からの情報ではありますが、調理方式の民間調理場活用方式については、枚方市から離れた場所に調理場があると栄養教諭や市栄養士がなかなか見に行くことができず、給食のでき上がりが思っているものと違うことがあるので注意が必要と聞いています。

・ 案件(3) 給食時間について [使用資料:2-(4)]

委員名	意見内容
今城委員	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場は、全員給食とした時に何が大変なのか具体的な課題を挙げてもらいたいと思います。中学校の先生方が課題として考えていることを聞きたいです。 全員給食・食缶方式で行っている自治体が多いことを考えると枚方市でもできると思います。

委員名	意見内容
今城委員	・実際に稼働したら、子どもたちの方がよくわかっているのので、先生方が多く関わらなくても自分たちでやっていくと思います。
中山委員	・現在、このコロナ禍において、前を向いて飛沫防止ガードをつけて昼ご飯を食べている状況から、どの様に食べているのか分からなくなっているのので、今まで給食を食べるのに時間がかかっていた生徒が、現在すごく早く食べ終わっていると、人に見られていないから、蓋をして残しているのではないかと考えてしまいます。
金子委員	・全員給食となれば、日課の変更も必要になるのではないのでしょうか。 ・学校給食の配膳については、子どもたちは小学校1年生から6年生まで経験していることなので中学校になってもそのまま継続できると思います。また、中学生は配膳も片付けも早いのではないのでしょうか。 ・給食の匂いがするということや、給食を運ぶトラックが学校に近づいてくると見るだけでもソワソワしていた思い出があります。そのソワソワした時間が楽しみだったので、子ども達も給食の時間が楽しみになってほしいです。
田中委員	・学校運営の立場としては、ランチボックス方式が良いと考えます。仮に全員給食であった場合でもランチボックス方式の方が学校現場もスムーズなのではないかと思えます。
武田委員	・全員給食で食缶方式となると、学校現場の課題が多いと考えます。教員の負担を増やさないためには給食に係る人の増員も必要です。加えて日課の変更等も必要になるのではないかと思えます。 ・生徒の栄養面を考えると、中学校給食の役割は理解できます。しかし、その他の教育活動にしわ寄せが出てくるのではないかと懸念するところです。 ・学校現場の状況を第一に考えてほしいと思えます。

・ 案件(4) 給食献立について [使用資料:2-(5)]

委員名	意見内容
春木委員	・小学校5・6年生から、痩身傾向が出てくるのが気になっています。 ・中学生にもなると、他者との比較について色々考える時期です。昼食においても、弁当・給食・購入して食べるなどの違いや、その内容を比べることなどによって、悩むこともあります。すべてにおいて、平等性を持たせることが大切です。全員が給食を食べることによって、家庭環境等自分の置かれている現状に悩むこともないのではと思います。 ・小・中学校の食習慣が当たり前になり、大人になっても引き継ぐことになります。成長期の子どもたちにとって、何が大切かを考えることが最も大

委員名	意見内容
春木委員	<p>切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く保護者が多い中で、バランスの取れたお弁当を作るのは大変なので、現在では給食を望む声が多いと思います。 ・家庭での食事時の会話がなくなりつつある環境です。現在、コロナ禍で給食での会話はできない状況ですが、同じものを食べながら、会話することは大切だと思います。 ・食器の色も、食欲に関係します。同じ給食を出しても、器によってイメージが変わるので、ランチボックスでの残食が多いのは、色や形など容器によるところも大きいのではないかと思います。食缶で使用している食器の方が食欲が湧くのではないかと思います。 ・全員給食で小学校と同じ方式となれば、大量調理のおいしさも感じる事ができると思います。給食は、食べ物のおいしさや味の違いを知るきっかけになるものであり、小中学生の時期に正しい食育を行うことは大切です。 ・先生方からの給食時の声掛けは大切であり、先生方への食育教育も必要だと思います。
今城委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省が食育の実施を通告している中で、学校全体で食育を進めていく必要があるが、推進具合はどうなっているのでしょうか。 ・現場の先生にもっと興味をもってほしいと思います。先生一人ひとりが食育をしていかなければならないという意識づけが必要です。 ・食育の推進において、課題のある食生活を解決するには給食を手本とするのが良いのではないかと思います。 ・テーマに沿った献立への取り組みを行っている中で、全員に学ぶチャンスを活かしていないのがもったいないと思います。大人が知らないことも学べるし、社会勉強にもつながると思います。 ・アンケートでの生徒の給食献立に関する意見では、ジュースを飲みたいなどの意見がありますが、「ジュースを毎日飲んだらどうなると思う？」や「なぜ魚を食べなきゃいけないと思う？」など、それをきっかけにした指導につなげられるのではないのでしょうか。アンケートは指導のチャンスだと思います。 ・給食を教科書のようにして進めていくのが一番確かな食育の手段だと思います。
田邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の中学校給食は特に野菜料理の味が薄いという感想を聞いています。全体を見て塩分の調整が必要ではないのでしょうか。特に、味の濃い料理に、味の薄い野菜料理が添えられているとより薄く感じてしまうのだと思います。 ・色々な種類の魚を食べる機会があまりないので、学校給食はありがたい

委員名	意見内容
田邊委員	<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校が給食になると、「なぜ弁当じゃないの?」という意見が出ますが、小学校が給食でも「弁当じゃないの?」という意見は出ません。給食へ移行するときは不平不満が出るかもしれませんが、幼稚園から小学校に上がる際に給食になるのが当たり前であるのと同じで、給食が普通になれば中学校も同様になると思います。 ・アンケートでの生徒の給食献立に関する意見を見ると、「食べたくないものはいらない」という意見に受け取れます。好きなものだけ提供されるのであれば、それは弁当と同じで給食ではないと思います。給食は教育の一環であり、だからこそ意味のあるものだと思います。
中山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒みんなが学校で一緒のものを食べる方が良いと思います。 ・給食は家では食べられないものがたくさん出ます。各地方の料理などは、献立を見ながら作ったりすることもあり、学ぶ機会にもなっています。 ・現在、給食を申し込まずパンだけ購入して食べている生徒が、大人になった時にも自分の子どもにパンだけ食べさせるのかと思うと、今の食事は大切で、しっかり昼食を食べるような状況をつくるのが良いのではないのでしょうか。
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・給食献立表や給食だよりを見て、家庭でも食文化を知ることができます。子ども達にも食文化や行事食を学んでほしいと思います。 ・魚料理ひとつとっても、焼くだけの調理方法しかされない家庭もあります。味覚の幅が広がっていかないことは子どもの将来にとっても良くないのではないのでしょうか。 ・家庭の食事を考えた時に、親や子どもが嫌いなものは食卓に上らない場合が多いと思います。色々な食材や料理があるのが給食の良いところです。また、友達と一緒に食べることで「給食なら食べられる」という料理もあると思います。 ・家庭での食事内容は、見えません。一日一食くらいは、学校給食で体に合ったもの、ちゃんとしたものを食べられるのは幸せではないのでしょうか。 ・中学校生活で大切なことは、健康な心身を作ることだと思います。その点から見ても、学校給食は大切ではないのでしょうか。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校担当の栄養士は小学校に比べると人数が少ないので、献立を立てるのもかなりしんどいのではないかと思います。 ・食缶方式やランチボックス方式それぞれのメリットとデメリットの話がありましたが、全員給食を開始するとなれば、全員給食が実施可能な方式を選ぶしかないのかと思います。
武田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面や中学校の日課を考えると、ランチボックス方式の方がより良いのではないのでしょうか。

委員名	意見内容
武田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全員給食となると、食物アレルギー対応にも課題があると思います。 ・「全員への提供は可能です。でも弁当持参でも良いですよ。」という言い方が良いのではないのでしょうか。
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭として、ポリシーを持って給食献立を考えています。この給食を全員に提供できたら良いと思います。 ・給食内容として、食缶方式となった場合もランチボックス方式と同じく料理の品数は多い方が食に関する知識等たくさんを伝えられると思います。 ・枚方市のランチボックス方式は再加熱し保温時間が長いことで、食べる時の味ができ上がり時と異なり、ぼやけているように感じる傾向にあります。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を満たすことが子ども達の成長に必要なので、全員給食が良いと考えます。 ・子どもの給食に対する意見は、あくまでも嗜好の部分であるため、献立作成時に考慮したら良い事です。献立が良いから「全員給食」ということではないと思います。

・ 案件(5) その他

委員名	意見内容
田邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の中学校給食の方向性については、保護者全員に意見を聴くというより、有識者などの意見を基に決めていけばよいのではないのでしょうか。 ・他市の中学校給食の状況等については、PTA から PTA へ確認してみてもよいのではないのでしょうか。他市の状況を知って、全員給食が多いとなれば、保護者から不満が出るというよりはそれが当たり前なのだと考えると思います。
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全員給食や食缶方式に転換する場合、教職員の不安が一番多いと思われます。教職員の不安を吸上げて回答したり、中学校の教職員が小学校の給食の様子を見に行ったりするなどで給食に対する理解が深まると思います。また、市統一の給食ルールがあれば、転勤先でも安心できます。 ・市民に意見を求めるのであれば、懇話会の経緯や内容をしっかり伝えた上で意見をもらって欲しいです。「これからの子どもを育てていく」という事を念頭に置いて考えてほしいです。